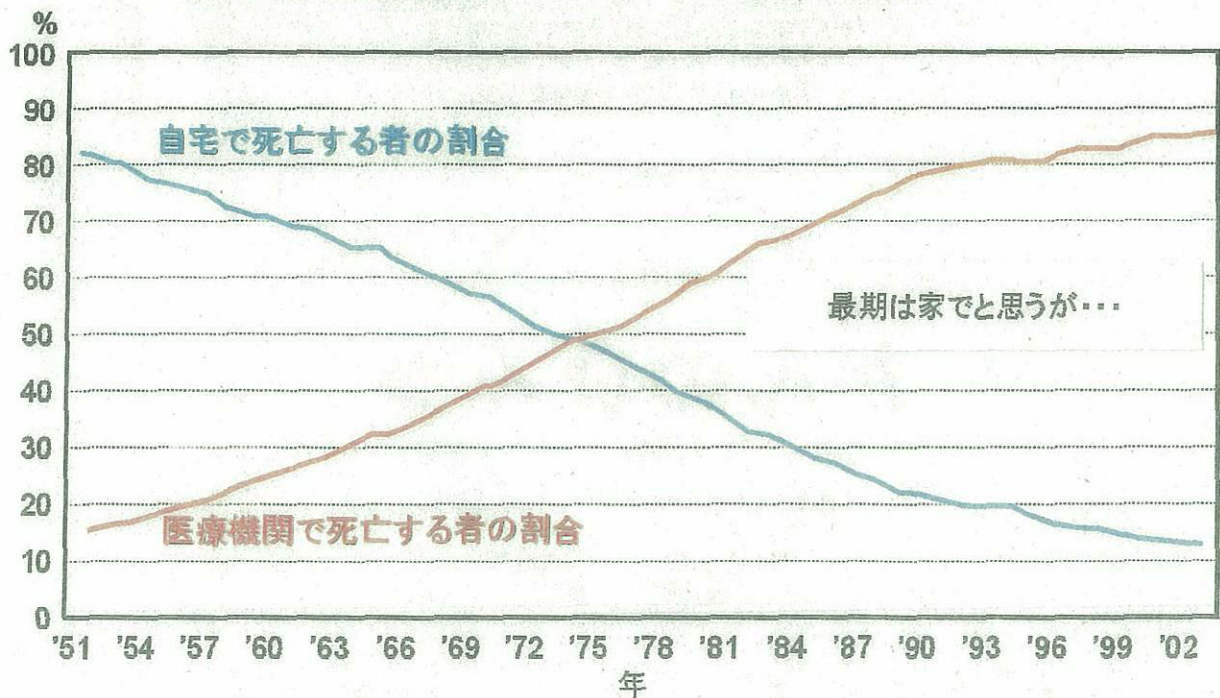


日本のがん死亡の減少をめざして

- 1) がん教育
- 2) がん検診、がん登録
- 3) コメディカルスタッフの導入

東大病院 放射線科准教授・緩和ケア診療部長 中川恵一

医療機関における死亡割合の年次推移



資料:「人口動態統計」(厚生労働省大臣官房統計情報部)

新刊のご案内
2008年1月発行

世界一のがん大国ニッポン、2人に1人が、がんにかかります。
「がんを知る」ことは、自分と大切な人を守ること。
クルマ選びも「がん治療」も、自分で考える時代、
日本人のための「がんの教科書」誕生。

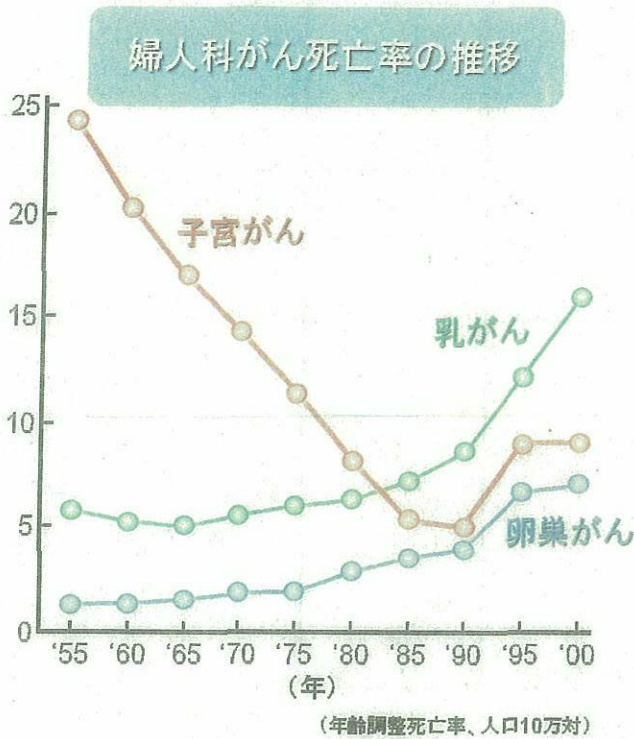
東大病院 放射線科准教授 / 緩和ケア診療部長
中川 恵一

がんのひみつ

2人に1人ががんになる。あなたはがんを知っていますか？
いざというときに、あわてない！
+
朝日出版社

がんも、そんなに、わるくない

子宮頸がん病期別死亡率は変わらない

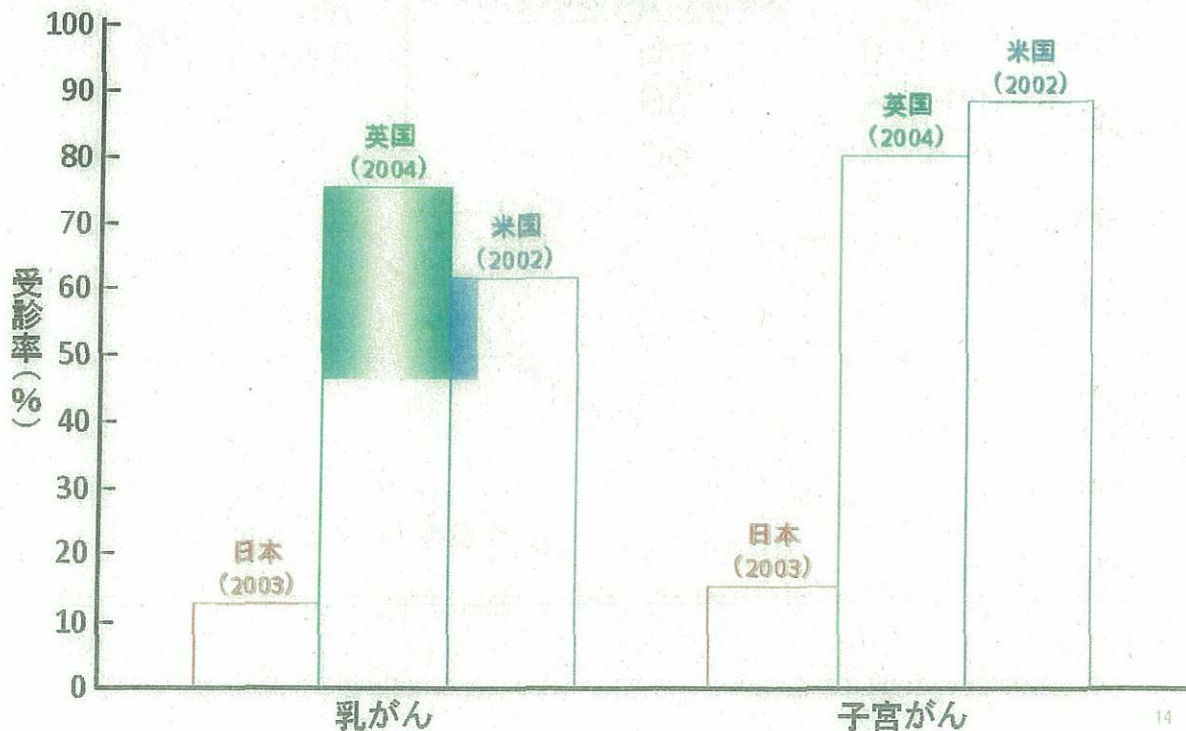


子宮頸がんの進行期別
5年生存率

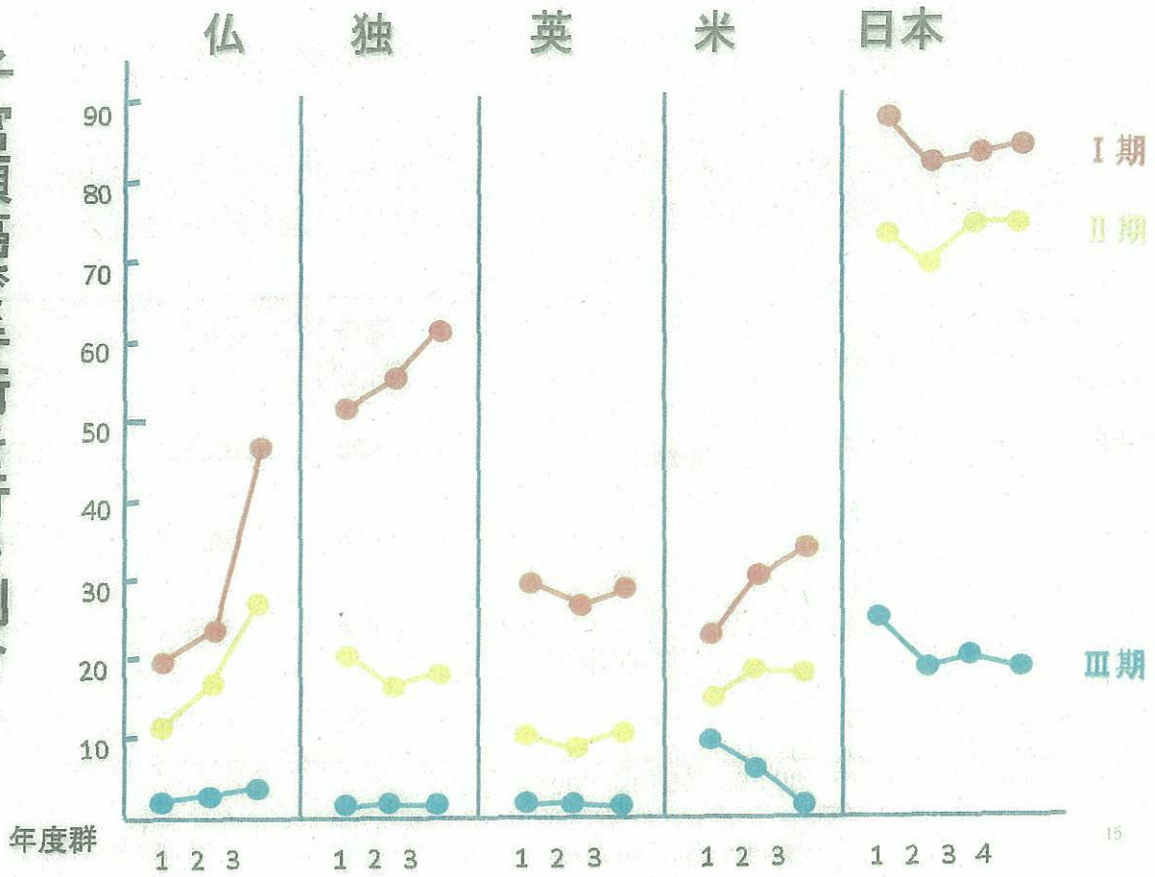
臨床 進行期	1963- 1972	1984- 1988
1期	83.3%	82.1%
2期	66.4%	62.8%
3期	36.8%	38.8%
4期	12.1%	12.5%

日本産科婦人科学会、2001

日米英がん検診受診率



子宮頸癌で手術を行う割合



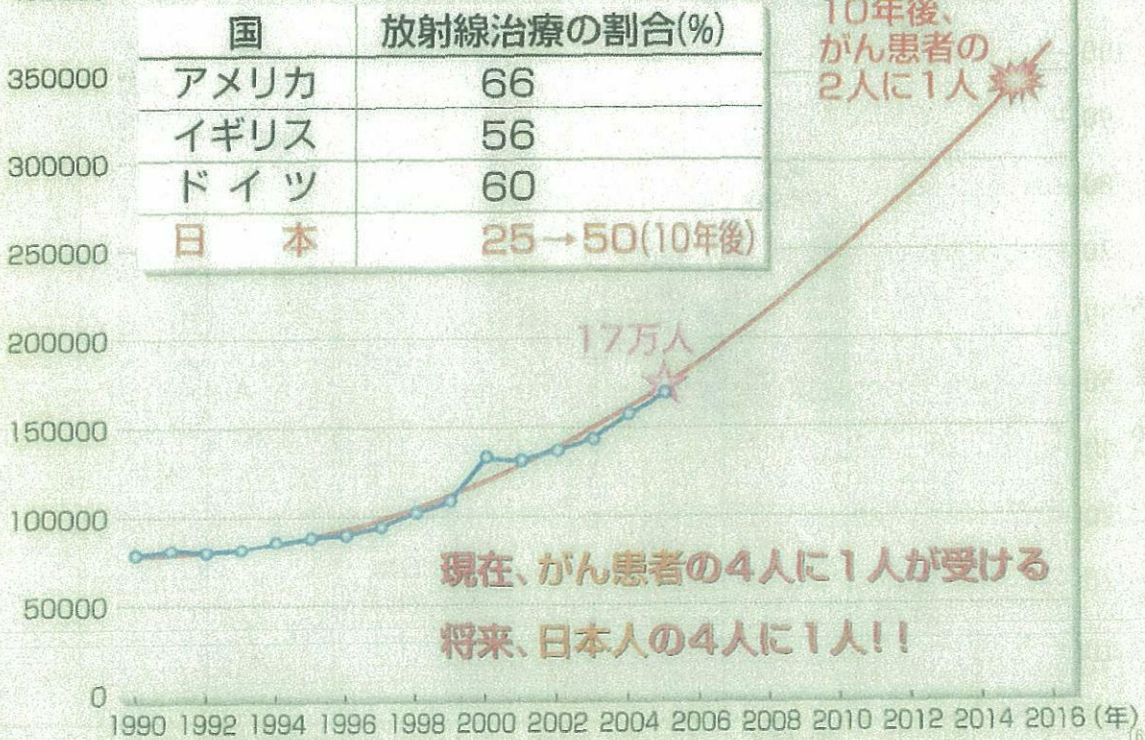
年度群

1 2 3 1 2 3 1 2 3 1 2 3 1 2 3 4

15

(人)

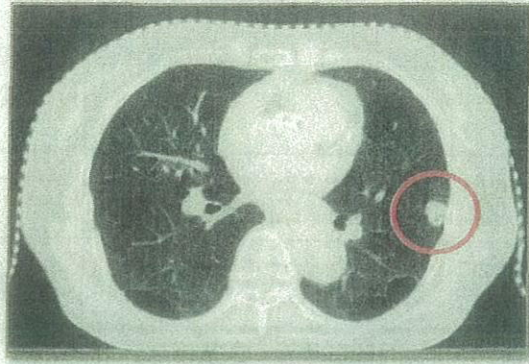
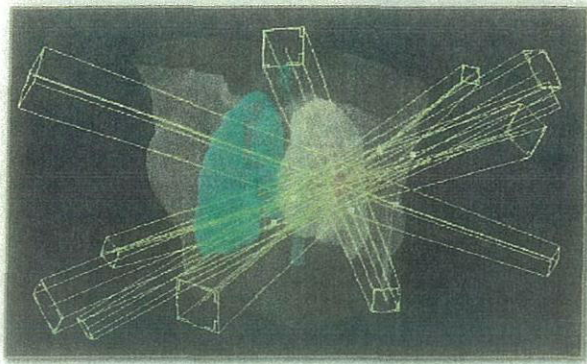
厚生労働省がん研究助成金計画研究班 (14-6)



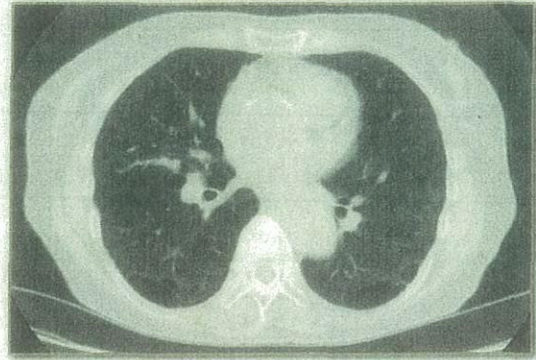
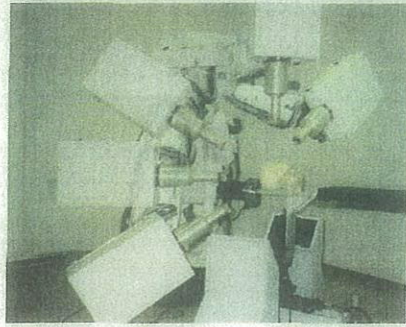
1990 1992 1994 1996 1998 2000 2002 2004 2006 2008 2010 2012 2014 2016 (年)

16

肺がんに対する定位放射線治療



治療前



治療後

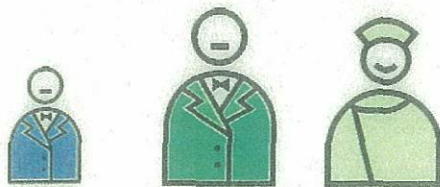
17

放射線治療部門構成の日米の違い

日本

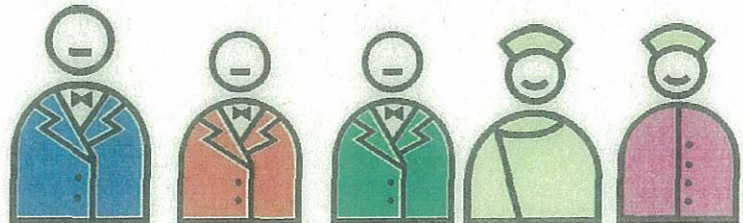


米国



医学物理士 放射線治療技師 看護師

実質20人でい度



医学物理士 線量計算士 放射線治療技師 看護師 医療情報士

5000人

18

放射線治療マンパワー比較

	日本	米国
放射線治療医	542	5,000
理工系専門家	実質20名以下	5,000
治療施設	700	2,400
ライナック	900	3,300
年間新患者数	170,000	600,000

放射線腫瘍(治療)学講座があるのは12大学 (15%)

大学医学部での人材養成システムの問題

- 京都大学
- 群馬大学
- 大阪大学
- 筑波大学
- 川崎医大
- 東海大学
- 慶応大学 (核医学との複合講座)
- 奈良医大 (核医学との複合講座)
- 東北大学
- 埼玉医大
- 熊本大学
- 近畿大学

放射線治療の教授が不在の大学は6割以上

放射線診断と放射線治療の同居(放射線科)が問題

本書で取り上げられる

がんのひみつ69

からいくつかをご紹介します



みなさんの
がんの常識を
チェック!

- 1 日本人の2人に1人が、がんになる
- 2 日本人の3人に1人が、がんで死ぬ
- 3 日本は、世界一の長寿国、つまり、世界一のがん大国
- 4 がんのことを知らなすぎる日本人
- 6 がんはDNAが傷ついて起こる病気
- 7 がんにかかると、がん細胞に栄養を奪われて死ぬ
- 8 がんは、自分の細胞のコピーミスでできた暴走細胞
- 9 がんは、細胞の老化の一種
- 10 冷蔵庫のおかげで、胃がんが減っている
- 11 ウイルスで感染するがんもある(子宮頸がん)
- 12 食生活の欧米化で、日本のがんも欧米化した
- 13 ベジタリアンの聖人君子でもがんになる
- 14 タバコがなくなれば、男性のがんの3分の1が消滅
- 15 欧米では減っているがんの死亡が、日本では増えている
- 18 治療の可能性は、転移の有無が握っている
- 24 検診に向いているがん、検診に向いていないがん
- 29 がんの種類によって、行なう検査も違ってくる
- 30 サプリメントなどは効果なし
- 31 抗がん剤だけで完治するがんはほとんどない
- 32 がん治療は、敗者復活戦のない「一発勝負」
- 34 がん細胞はどんどんタチが悪くなる
- 36 転移したがんは、窓から出て行った鳥
- 38 告知をうけてこそ、治療法を自分で選べる
- 41 インターネットは、要注意
- 42 日本では、今でも、胃がん型の「がん治療=手術」
- 48 放射線治療途上国、ニッポン
- 51 放射線治療の専門医も技術者も、日本では少なすぎる
- 53 がんの痛みを我慢する日本人
- 54 日本人の医療用麻薬はアメリカ人の20分の1
- 55 がんの痛みはとった方が長生きする
- 58 病気の「治癒」というが、〈治〉偏重、〈癒〉軽視のニッポン
- 60 義務教育でがん教育を
- 61 結核は届け出るのに、「がん登録」の制度がない
- 63 がんの統計データは死亡診断書だけ、というお粗末
- 64 放射線治療・化学療法、緩和ケア、がん登録が、がん対策基本法の柱
- 66 がん治療を支える医療現場は、疲れ切っている
- 69 医療が崩壊し、医療費だけが高騰する最悪のシナリオ

著者: **中川恵一** (なかがわ・けいいち)

東京大学医学部付属病院 放射線科 准教授、緩和ケア診療部長。1960年東京生まれ。1985年東京大学医学部医学科卒業、同年東京大学医学部放射線医学教室入局。1989年スイス Paul Sherrer Institute に客員研究員として留学、1993年東京大学医学部放射線医学教室助手、1996年専任講師、2002年准教授。2003年東京大学医学部付属病院緩和ケア診療部長(兼任)。著書に「ビジュアル版 がんの教科書」「命と向き合う—老いと日本人とがんの壁」「自分を生ききる—日本のがん治療と死生観」(共著)「緩和医療のすすめ」「放射線とEBM」「悪化するがんの治療百科」(共著)など。

仕様:

2008年1月17日発売

定価:714円(一括50部以上は特別価格500円 送料別)
四六判変型/並製/本文168ページ

お申し込み・お問い合わせ:

〒101-0065 東京都千代田区西神田3-3-5

朝日出版社 第2編集部/担当:赤井茂樹

電話:03-3263-3324/ファクシミリ:03-3263-7471

e-mail: info2@asahipress.com

ご注文申込書

がんのひみつを

冊注文します。

定価714円(一括50部以上は特別価格500円 送料別)

お名前

ご住所

お電話番号

※一括50部以上の特別価格500円は、小社に直接お申し込みいただく場合に限りです。ご了承ください。